

平成29年度 下水道維持管理業務取組み発表会
発表概要

発表タイトル

場内AEDの運用改善

取組みの目的

場内に設置のAEDについて、「AEDの適正配置に関するガイドライン」（厚生労働省）が推奨する「心肺停止から5分以内の除細動（電気ショック）」を行うため、AEDの要請から現場到着まで2分以内を実現できるよう運用を改善するもの。

取組み内容

1. 現在の課題

- ・場内が広く、最長直線距離で片道約4分、往復約8分かかる。
- ・場内に不慣れな人は、AEDの設置自体や、最寄りの設置場所を知らない、通報時に自分の現在地を正確に伝えられないことがある。

2. 運用改善

- (1) 場内に4箇所あるAED設置場所に最寄りの監視室を緊急連絡先として定める。
- (2) 監視室には、各現場への概算距離が一目で分かる図面及び、AED要請が来た場合の行動手順書を整備する。
- (3) 場内設置の各内線電話に、緊急連絡表、AED設置場所図及び現在地図を整備する。
- (4) 緊急連絡表には、現在地名、最寄りの緊急連絡先を記載しておく。
- (5) 場内への新規入場者に対して、上記(1)～(4)を周知する。
- (6) すみやかにAEDを使用するための訓練を実施する。

取組み成果・効果

以下の効果が見込まれる。

1. 心肺停止事故等の際に、AEDの現場到着の所要時間の短縮が図れる。
2. 場内の安全体制の向上が図れる。